愛隣館研修センターニュース

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151　Tel:075-621-3849　Fax:075-621-1579
E-mail:airinday@sunny.ocn.ne.jp　http://www.airinkan.net　振替:01020-5-39321
編集発行所:社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター　発行責任者:平田 義

87号

「マイタウンMJ」へようこそ

1月12日　向島ニュータウンセンター商店街にオープンした「マイタウンMJ」。「向島は人材の宝庫。地域の寄合の場、まちづくりの拠点として「マイタウンMJ」を地域の方々に活用していただきたい」と熱く語られるのは、京都文教大学　総合社会学科　専任講師の小林大祐先生です。建築家でもある小林先生は、宇治市と福知山市の景観計画、大阪市の旧平野郷地区における修景などに取り組まれるほか、「建築は問題解決学である」と町の抱える問題の解決に向け、まちづくりイベントを企画運営される等、幅広い活動をされています。

「マイタウンMJ」の看板は、団地の片隅に書かれていた落書きの文字を使っている。“My Town good bye”引越しの前にやんちゃな子がスプレーで書いたのだろうか。

向島ニュータウンの若い子たちの間では、「向島（MukaiJima)」をMJ（エムジェイ）と呼んでいるらしい。やんちゃな子も含め、いろいろな人が生活する「みんなの町　向島」という思いを込め、「My Town　MJ」と名付けた。

文教大学は、地域と連携した協働型プロジェクトの拠点として、宇治橋通り商店街、伏見大手筋商店街にサテライトキャンパスを開設・運営している。

大学に近い向島地域でも何かできないか？ということで、自治会や民生委員、地域の方と一緒に「ほっこりフェスタ」(2011年）を開催。その時、初めて文教大学が向島ニュータウンセンター商店街の空き店舗を借りた。その後、京都市住宅供給公社より「恒常的に活用してほしい」と大学に申し出があった。

これまでは、補助金を使って大学が人を入れ、運営するというやり方が主流であった。しかし、補助金がなくなると継続が困難になる。

「マイタウンMJ」では、地域で継続可能な形での運営をめざし、2012年秋から準備を始めた。運営団体には地域住民・向島ニュータウンセンター商店会・京都市住宅供給公社・文教大学・福祉施設等が参加。現在では月1回、地域の方と一緒に運営会議を開催している。

イベントの企画はいたってシンプルである。「こんなことをしてみたい！」というアイデアを持つ人が、「マイタウンMJ」の窓や壁に張り紙を張り、「一緒にやりませんか？」と呼びかける。興味を持った人・参加したいと思った人が集まり、イベントやサークルを生み出していく「“この指とまれ”方式（実行委員方式)」である。懇親会の勢いで、生まれた企画もある。

学生はイベントの企画・運営のお手伝いをしながら、地域の方々からいろいろなことを学んでいる。

向島は「人材の宝庫」。経験や実力のある定年を迎えたお父さん、子育て中のお母さん、ボランティア等で関われる人材がいるという利点がある。また、中国帰国者の方、在日の方など様々な文化を持つ方も大勢住まわれている。

自分の好きなこと・得意なことをすると人は元気になる。「自分の力を生かしたい」という人が「マイタウンMJ」を利用し、「集まりたい」「勉強したい」「情報交換したい」「人の役に立ちたい」…という地域の方と一緒に活動すると、向島のまちが元気になる。

団地の集会所はその街区の住民しか利用できなかったが、「マイタウンMJ」では街区・地区を超えた寄り合いが可能である。

向島の市営住宅は老朽化が進む一方、1人暮らしの高齢者の方も多い。1人で食事をするのは面倒でも、「ランチ倶楽部」で皆と話をしながらご飯を食べたらほっこりできる。買い物のついでにちょっと寄って、誰かと話をしたら、新たな繋がりがうまれる。

ぜひ一度、「マイタウンMJ」を覗きに来てください。

今後の企画としては、
*ランチ倶楽部（月1回～）*無料学習塾（週2回）
*東日本大震災を伝える“メモリアルイベント”
*ミニFM　*料理教室
*鉄道好きのプラレールの会や旅行等も企画中！

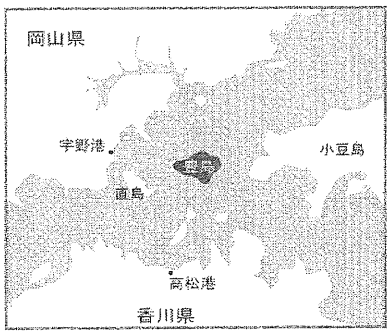
（福野由記）

豊島をご存知ですか？

向島では今、「まちづくり」をキーワードに「My Town MJ」や「向島秋の祭典」など、様々な取り組みで盛り上がっています。同じ「島」繋がりという訳ではありませんが、瀬戸内海の一つの島「豊島（てしま）」においても、瀬戸内国際芸術祭が注目されると共に、「島」の活性化のための活動が展開されています。その一つに豊島を文字通り「豊かで」幸せに暮らせる「島」となることを目指して「豊島の福祉を考える協議会」が発足しています。皆さまに「豊島」のことを知って頂きたいと願い、「協議会」のメンバー横山利明がレポートします。

豊島とは…

瀬戸内海に豊島（てしま）という島があります。小豆島の西側にあり、船でのみ往来できる島です。



↑岡山県と香川県の間に位置する豊島

島の周囲は約20キロ。島の中央部には壇山（だんやま）と呼ばれる小高い山があり、山頂からは瀬戸内を360度望める大パノラマが広がります。島には海山の幸にあふれ、約1000人の島民が豊かに暮らしています。

↓豊島にあるイエス団施設

イエス団との関わり…

その豊島には、社会福祉法人イエス団（愛隣館と同じ法人）の施設が３つあります。乳児院・保育所・高齢者施設、特に乳児院の歴史は戦後すぐから始まり、豊島が福祉の島と呼ばれる所以にもなっています。

今、豊島を含め離島の多くは生活に大きな課題を抱えています。例えば、豊島では人口の５０％以上が６５歳以上の高齢者であると言われ、過疎高齢化が進んでいます。

島内に高校はなく、中学校を卒業すると、島外の高校に通います。本島と島をつなぐ橋が無いため、島外に出るには1日に限られた船便を利用するしかありません。

島での仕事も限られており、島外での就職者が圧倒的に多く、そのまま島を離れてしまう人も少なくないのです。大切にされてきた文化、伝統を継承する若い世代が喪失する危機に直面しています。

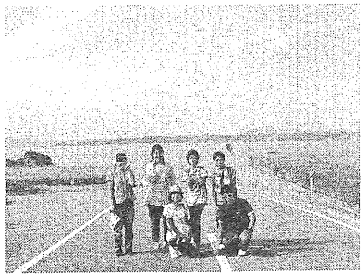
『豊島の福祉を考える協議会』

過疎高齢化の対策のみに留まらず、多様な活動を展開すべく、島内では10年先の豊島を見据えて『豊島の福祉を考える協議会』が発足されました。幅広い年齢層の方々の参加。また島外からも大学教員や各分野の専門家が参加し、島の多くの課題を真正面から受け止め、島全体としての取り組みになるよう働きかけています。この協議会にイエス団も一員として参画してゆくこととなりました。

イエス団では、その中で、豊島の歴史と現状、並びにイエス団の各施設の働きを学ぶことや島民の方との交流を大切にした宿泊研修も行ないました。島の課題は山積ですが、『豊島』という名の島だけに島内には豊かなものが多く存在していることに気づかされます。自然、食、文化、伝統など。そして島を想う人たちやその繋がりが強固でユーモアにあふれていること。

こういった豊かさを見つめ直すべきは、何も豊島だけではないのかもしれないです。現代社会にとって今必要とされていることなのかもしれません。

↓豊島プロジェクト参加者



豊島での働きは始まったばかりです。島内外問わず、多くの方に関心を寄せていただけるように、今後も豊島の事を紹介できればと考えています。

（「ゆうりん」スタッフ・横山利明）

「見えない壁」

昨年2012年の10月、県民の反対意見を押し切る形で、沖縄の在日米軍普天間基地に垂直離着陸輸送機オスプレイが配備されました。テレビや新聞などのメディアの中でオスプレイの名前や姿を目にされた方も多いかと思います。配備直後から（恐らくこれを読まれている今も）昼夜問わず飛行訓練として市街地の上空を飛び回っています。

またその一方で、沖縄の北部に位置する小さな集落の中にヘリパッド（ヘリ離発着場）が新たに建設されようとしています。

沖縄島の北部には木々に覆われた山々が広がっています。この地方には絶滅危惧種にも指定されているヤンバルクイナという鳥が生息しており、山原（ヤンバル）の名前が示すようにその地域は自然豊かな森が広がっています。

その地域の東村高江という小さな集落に隣接するように米軍の訓練施設、「北部訓練場」があります。過去、ベトナム戦争時においては、ジャングルの中での戦闘を想定した訓練が行われていました。今もなお訓練が行われており、集落の上空を昼夜問わずヘリが飛び続けています。そんな中、集落を取り囲むように新たなヘリパッドが建設される計画が立てられました。住民は反対の声を上げましたが、国は耳を傾けようともしません。それどころか、話し合いを求め、非暴力の抵抗を続けている住民を「工事の妨害をしている」として、国が住民を裁判に訴えることまでして排除しようとしています。住民は工事を進めさせないため、今も24時間体制で座り込みによる抵抗を続けています。

これまでにも何度かこのセンターニュースに取り上げられてきました名護市辺野古沖への新基地建設、前述のヤンバルへの新たなヘリパッド建設、最近ではオスプレイを筆頭とした基地反対の声等々。私たちが普段目にするメディア上で取り上げられることが少ないのが現状です。

”日本国と米国が安保条約を結び、日本国に米軍基地を置くと定めている。そこに「沖縄に置く」という条項はないにもかかわらず、その74%は0.6%の「国土」面積で「国民」人口1%が住む沖縄に置かれている。その条約を支持（無関心=特に反対しない人も含む）しているのは、沖縄以外の99.4%の土地（そのほとんどが通常「本土」と呼ばれている）に住む99%の国民の中の圧倒的多数の人々である。反対していてもほとんどの人は賛成派同様、基地負担から逃れるという利益を得ている。0.6%の沖縄に住む1%の人々は条約に賛成でも反対でも74%の基地負担という不利益を被っている。”

”米軍基地を沖縄に直接押しつけているのは日米両政府だけれど、それをずっと支えてきた（覆さないでいる）のは、99.4%の土地の99%の人々でもある。沖縄でどんなに声をあげようと、この人々がこのままでは、沖縄に基地はあり続け、あるいはさらに増強され、基地被害はこれからも続くだろう。”

（「ウシがゆく」知念ウシ著・沖縄タイムス社）より）

沖縄への基地集中は差別である、という声も近年耳にするようになってきました。日本とアメリカという国や政治の問題だけではありません。「あまりよく知らない、わからない、知っていても知らないふりをしている、無関心」な私たちもまた、差別に与している一員となってしまってはいないでしょうか？

正しく知ってゆくことが、無関心の壁をなくすために必要なのではないでしょうか。

（安野友喜）

愛隣デイサービスセンターで働き、初めて担当したのが上田雄喜夫さんでした。食事中、唾液と痰が多く、適切な角度を探りながら過ごしていたことを懐かしく感じます。腸瘻や体のゆるめ、活動などなど、たくさん雄喜夫さんを通して学ばされました。とても辛い別れとなりましたが、僕たちは雄喜夫さんから学んだたくさんのことを、今いる利用者とこれから来られる利用者に伝えていきます。本当にありがとう！（田中仰）

お悔やみ

上野直子さんが2013年3月5日、天国へ旅立たれました。愛隣デイでは10年以上の時を共有させていただきました。今は、ぽっかりと穴が空いてしまったような寂しさを感じています。上野さんのとびっきりの笑顔に何度励まされたことでしょう。笑顔を見せてもらえるようにとあれこれ思いめぐらせている中の突然の訃報、残念でなりません。天国では安らかな笑顔でありますように！心よりご冥福をお祈りいたします。（辻早苗）

行事報告

12/15 デイケア・シサムクリスマス会
12/17 同志社女子中・高等学校ページェント参加
12/21「PAG-ASA」（タガログ語で“希望”の意味）会キャロリング
12/24『愛隣』クリスマス会
12/28 デイサービス忘年会
1/15 2･11 事前合同学習会
1/21 愛隣館医療的ケア学習会（口腔ケア）
1/22 京都ブロック会議
2/11 2・11 平和集会（紙芝居「かっくん」＆映像）
2/16 福祉フェア参加
2/27-3/6 アジア国際夏期学校（SIEA）タイセミナー
3/5　京都ブロック会議
3/8 愛隣館医療的ケア学習会
3/17 介護職のための医療的ケア研修

ご支援ありがとうございました

今年度も多くの皆様に支えられて活動を続けていくことができました。
今後ともよろしくお願い致します。
感謝を込めてお名前を載せさせていただきます。

愛隣館研修センター献金者

《月定会員》

浦由佳里,奥田美代子,奥間早登子,奥野美奈子,大谷優子,柿本真介,神戸萌子,金山秋義,寒竹美穂子,君村千代子,木村美由紀,木村耕,北園由希子,菊地義則,櫻恵子,佐々木智子,篠部このみ,酒井由喜,塩谷幸代,末光,田中晁・千栄,田中春枝,崔恩京,刀根史恵,菱田万里子,福田尚子,堀尾恵,松井知恵,松野正信・清美,壬生輝子,道野大輝,村川知子,村上頌子,恵ヒロ子,毛利元美,森弘・雄子,"安野喜仁,優美",山崎希充子,藪内みのり,吉村麻弥香
(40名　501,100円)

《指定献金（夏期特別、クリスマス、年会費）》

郵便振替(個人)：有本由美子,池添素②,石川康司・拓也,今井ゆずる②,今井美令,宇野　みさ,上野政治,梅村貞造②,織田雪江,加治木政子②,川中大輔,川田よしみ,岸野新吾②,喜多明子,北野井一恵,木村拓貴,黒田絢②,後藤一志②,小久保正②,近藤孝子,小西二巳夫・文江,澤田茂雄,坂本紘輝②,清水元介②,島田善次,菅令子②,杉原輝明,竹内富久恵②,竹下佳貴②,高橋秀幸②,高津陽子,田村早千枝②,高木恵子,武澤信夫,高柳富夫,土田美佐江,刀根史恵②,冨永裕子②,銅銀正美,中西仁美②,中島静子,永島鉄雄,西田一貴,丹羽克吉,野島正光・共子②,浜口雄二②,服部昭,服部忠,冨士定夫②,藤田早紀②,堀尾とみ代,朴実・清子②,前島宗甫,松原智之,黛正,松岡匡宏,宮本真希子,南原麻里,村田稜太②,村瀬義史,恵丈一郎,森田和子②,守本孝造,籔中翔太②,山形滝子②,山内恵美,家野貞夫,匿名
その他寄附金(個人)：足立こずえ,赤保正典②,秋山眞一郎,網野佐登子,網野俊賢,猪ノ口愛子・敬幸,魚木,榎本てる子,奥田美代子,川尻良雄②,柿本真介,北野井一恵,君村千代子,小西,清水光浩,下野環,下谷麻記,静谷泉,田中千栄,高木春美,坪内徹,冨増献児,銅銀正美,土井淳平,中井二美,中垣陽子,内藤弘子,中西静子,野村秀次,林川忠男②,畠田知佳,板東あけみ,平井,古川城行②,藤田三郎,増田みち子,溝口久美子・智之,宮本真希子,恵ヒロ子,森園久夫,森弘,安野喜仁・優美,脇坂照世,(匿名)
(143口　970,761円)

郵便振替(団体)：愛之園保育園,芦屋岩園教会,市川三本松教会,一麦保育園,石橋教会,大阪府重心身児者を支える会,軽井沢追分教会②,上池台児童館②,希望が丘教会,京都丸太町教会,京都御幸町教会,京都YWCA,樟葉新生園,啓明学院,香里教会,神戸教会,坂出愛育館,島松伝道所,しぇあーど②,所沢教会,同志社教会,同志社中学校・高等学校,西宮一麦教会,西小倉めぐみ教会,原宿教会,枚方くずは教会,光の子保育園PTA,二葉幼稚園②,平安教会,みどり野保育園,翠ヶ丘教会,友愛幼児園,よろず屋,洛陽教会
その他寄附金(団体)：NAの会,ダンスサークル,空の鳥会,Pink cherubic,二ノ丸民生児童委員協議員,新婦人,新婦人(献金),上池台児童館,コミュニティバスを走らせる会,世光保育園、あかとんぼ(小中謙吾、宮坂亜矢子、寺田知紗、福田竜一)
(49口405,000円)
2013年3月20日現在　敬称略

記入に際しましては万全を期しておりますが万が一記載漏れがありましたらご一報ください。

☆お知らせ☆
▽愛隣館研修センターは、3月28日～29日を休館日とさせていただきます。

★編集後記★
▼2012年度も愛隣館らしい1年だったように感じています▼そのエッセンスがつまった研修センターニュース▼皆さまからのメッセージに励まされております(さ)
▼東日本大震災から二年が経過した▽福島第一原発による原発事故で、福島はもとより東日本全域が大量に被曝した▽そして、今なお、目に見えない放射能により、塗炭の苦しみをなめさせられている人々がおられる▽しかし、マスコミはすでに放射能の危険がなくなったかのごとく、国の嘘で塗り固められた安全宣言を後押ししている▽先日、向島に自主避難して来られたお母さん方のお話を聴かせていただいた▽子どもの'いのち'を守るために、家族が離れ離れの生活という苦渋の選択を強いられている▽私たちに対して、次のように訴えられた▽放射能汚染の実態を正しく認識して欲しいこと▽福島での生活を余儀なくされている人々と共に、避難をしている人々のことを忘れずに思いを寄せて続けて欲しいと▽共に歩み続けていきたい(ひ)